

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開所時からグループホームの介護理念を大切に日々業務にあたっているが、これまで理念について話し合いをしたことがない。5年目の筋目を迎えるにあたり継続や見直しなど、理念委ついて話し合いの機会を持つことが必要。	自分たちで考えた理念を持って常に前進するという気持ちと行動を持つ	・これまでの経験を振り返り、学んだ点、もっと努力すべき点等について、まず自分で考え、月1回のスタッフ会議で討論及び修正し、実践していくなかで、更に修正していく。	2ヶ月
2	4	運営推進会議への参加者の見直しをすることで幅広い意見の収集に繋がると思われる。会議の前などにホームの様子を実際見てもらうことで、報告内容がよく理解できるのではないか。	運営推進会議でもっとグループホームを知ってもらう	・会議の前にグループホームに立ち寄ってもらい、ホームの様子等を見学して頂くようお願いする ・季節によっては会議の場所をグループホームで行なう事を検討する	1ヶ月
3	20	ふるさと訪問など取り組んでいるが、入居者が本当に喜んで貰える場所へ外出しているか(高度な認知症の方へのコンタクト)疑問である。	馴染みの場所への外出支援	・自宅訪問に限らず、その人の馴染みの場所、思い出に残っている場所への外出を検討する ・家族への聞き取りを行なう ・年間計画を立てる	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。